

## 「選挙と選挙をめぐる問題点」の学習 ～「公民的資質の基礎」を養う“選挙ゲーム”の試み～

長野県松本市立丸ノ内中学校 黒沢幸喜

### 1 はじめに

「…、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」と学習指導要領の中学校社会科の目標に記されている。

本校社会科教科会では「公民的資質」を“社会的事象を多面的・多角的にとらえ、正しい判断と正しい行動がとれる資質”と考えている。その資質向上のために、1年次より段階的に問題解決学習を仕組み、社会的事象に対して個の思考を広げながら深める機会を設けてきている。

ところで、「投票」という行為を考えると、さまざまな社会的事象に対して関心を寄せ、あらゆる側面から情報を収集・処理することが必要となる。また、そうすることにより、諸問題への自らの考えを持つことができ、候補者（政党）の公約と照らし合わせながら判断し、投票している。

このように、「投票」という行為はまさしく「公民的資質」に裏づけされた“判断”のもとに行われる行為であり、その行為が正しく行われることが民主国家の発展に大きく関わっている。したがって、将来自分の考えと判断で、主体的に選挙という制度に関わっていける生徒に育てることが、学習指導要領「中学校社会科の目標」の究極の「ねらい」ではないかと考えている。

以上のことから、「選挙と選挙をめぐる問題点」の授業を、「公民的資質の基礎」を養う総まとめの時間として位置づけたい。単なる選挙制度のしくみや問題点をつかませるばかりではなく、「選挙」を疑似体験（選挙ゲーム）をすることにより、それまで培ってきた「学び方」を総動員させながら、学習を深めることができるのではないかと考えた。また、思考を練り上げ、判断する経験を積ませることは、社会的事象をより身近に引き寄せ、主体的に社会を歩むための視点を与えることができるのではないかと考え、「選挙ゲーム」を授業の柱に据えた展開案を作成してみることにした。

### 2 「選挙ゲーム」を柱とした授業展開

#### (1) 「選挙ゲーム」

帝国書院『中学生の公民（最新版）』p.152, 154を参考にしながら展開案を作成することにした。

教科書では、

- 公約づくり
- グループづくりと立候補者の決定
- 立会演説会と政策討論会の実施
- 投票並びに開票
- 選挙ゲームの結果についての考察

という流れで展開が仕組まれている。



#### ～選挙ゲームをやってみよう①～

これからクラスのなかで選挙ゲームをやってみましょう。ルールはかんたんです。自分が立候補して当選するか、あるいは自分が投票した人が当選したら勝ちというものです。ただし、棄権・白票は、なしとします。（このゲームでは、いちばん多く票を集めた人が当選です。）

#### 1. 選挙の公約をつくりましょう

選挙を行うためには、まず、立候補者が当選したら何を実行するかということを表示することが必要です。これは投票してくれる人に対する約束で、公約といえます。たとえば、次のようなものが公約となります。



- A：私が当選したときは、国民の税金の負担を軽くするために減税を行います。
- B：私が当選したときは、必ず景気をよくするために公共事業をふやします。

このほかにも解決したい問題を思い浮かべながら選挙公約をつくってみましょう。

#### 2. 立候補者を決定しましょう

##### ① 全員の公約を紹介しましょう

まず全員がひとり10秒から15秒ほどの短い時間で、自分の公約をかんたんに紹介してみましょう。



##### ② グループをつくりましょう

ほかの人の公約を聞いてみると、自分と似たものもたくさんあると思います。ゲームに勝つためには、票を多く集めなければいけません。似た公約をした人が何人も立候補すれば、勝つことができます。そこで同じような考えの人がグループをつくり、だれが代表となって立候補するかを決定してください。

また、選挙公約も手なおしてください。

これで選挙ゲームの準備は完了です。



#### ～選挙ゲームをやってみよう②～

#### 1. 立会演説会と政策討論会をやってみましょう

当選するためには、自分たちの政策のよさをよくわかってもらう必要があります。そのため、に演説会と政策討論会をひらきましょう。

小さなグループの人には、政策の正しさを主張できる絶好の機会です。



#### 2. 投票並びに開票

いよいよ投票です。立会演説会と政策討論会の内容をよく判断して、投票しましょう。

#### 3. 選挙ゲームの結果は？

当選した人の政策は、クラスの人の願いをあらわしたものになっていますか。選挙の結果について話し合ってみましょう。

帝国書院『中学生の公民（最新版）』p.152, 155

新聞記事などで国政を振り返らせながら「公約づくり」を疑似体験することは、それまでに培った既習知識を使いながら、それらを互いに関連づけたり統合したりする作業が期待できる。これは社会的事象を多面的・多角的にとらえるために必要な作業であり、個の思考をより確かなものにするための大切な学習過程であると考え。また、各々の公約をまとめグループ分けすることは、生徒たちには理解しにくい「政党」の概念を体験的に学ぶことができるのではないだろうか。

## (2)「選挙」に関する生徒の意識調査

展開案を作成するにあたり、「選挙」に関する生徒の意識を調査することにした。以下、その結果である。

○20歳になったら選挙に積極的に行くか？

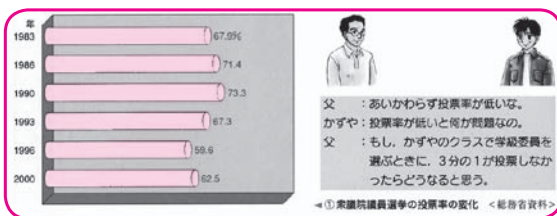
行く…73% 行かない…27%

○「行く」理由

- ・自分たちの生活に関わるからだから。
- ・国民の一人として当然だから。
- ・若者の投票率が下がってきているから。

○「行かない」理由

- ・仕事をしていれば時間に余裕がないから。
- ・誰が当選しても今の政治は変わらないから。
- ・(政治に) 関心がないから。



帝国書院『中学生の公民 (最新版)』p.152

○投票率を上げるにはどうしたらよいか？

- ・投票できる場所を増やす。
- ・自宅からでも投票できるようにする。
- ・若者をターゲットにしたイベントとタイアップする。
- ・特典をつける。
- ・選挙の大切さをしっかり教える。
- ・選挙に行かない人に罰則を与える。
- ・今の政治を画期的に変えてくれる人が出馬すればいい。

生徒たちは1年次の「身近な地域」において、市内の再開発の現状とこれからの街づくりについ

## 「選挙」に関する意識調査

1 20歳になったら選挙に積極的に行きますか？ (どちらかに○をつけてください)

行く

行かない

2 1で答えた理由を書いてください。

3 下のグラフを見ると投票率が下がってきています。



父 : あいかわらず投票率が低いな。かずや : 投票率が低いと何が問題なの。父 : もし、かずやのクラスで学級委員を競ぶときに、3分の1が投票しなかったらどうなると思う。

⇒①衆議院議員選挙の投票率の変化 <総務省資料>

①その原因は何だと思えますか？

②どうすれば投票率が上がるかあなたの考えを書いてください

③投票率が低いと何が問題なのか、あなたの考えを書いてください。

帝国書院『中学生の公民 (最新版)』p.152

て追究し、住民の声を最大限取り入れようと努力している行政の姿を学習した。またそれらの活動団体に自分たちの考えを伝えることを通して、市政に関わる体験をしてきた。さらに「都道府県の調査」の単元において「沖縄県」を取り上げ、米軍基地縮小と地域の活性化に揺れる沖縄県民の姿に触れ、国政や市政に主体的に関わっていくことの大切さを学んできた。約7割の生徒が「選挙」に積極的に行くと考えているのは、それらの学習の成果と考えることができるのではないだろうか。

しかし、約3割の生徒が「行かない」と答えており、さまざまな社会的事象への関心を高めると同時に、国政や市政へ関わることの認識をより深く掘り下げていく必要があるように思う。

また投票率を上げるために、「イベントとタイアップする」とか「特典をつける」など、いわゆる「エサで釣る」手法が提案されており、民主国家における「選挙」の目的と意義を確実にとらえさせる必要があるように感じた。

以上、このような生徒の実態を踏まえ、“選挙ゲーム”を柱とした「選挙と選挙をめぐる問題点」の展開を考えることにした。

(3) 選挙ゲームを柱とした「選挙と選挙をめぐる問題点」の単元スケッチ

段階	学習活動	学習問題	生徒の反応	指導・支援	評価規準(方法)【観点】
導入	1時限目 2004年参议院選挙の各政党の公約を見てみよう		新聞より各政党の公約を抜粋して資料提示。 「あなただったらどの政党を支持するか?」と問い、各政党の考えを募りとらせる。		B: 考えの根拠をもちながら支持政党を選ぼうとしている。(学習カード) 【思考・判断】 【資料の読み取り】 【知識・理解】
		年金問題については〇〇党の考えに近いけど・・・。 ・(年金問題) 一度決まったものがくつがえせるのかな? ・消費税については〇〇党の考えがいいな。 ・自衛隊の多国籍軍参加については私は△△党の考えに近い。 ・すべての政策が自分の考えと全く同じという政党はないな。 大人はどうやって指示政党を決めているのかな? ・政党は指示を集めるためにどんな努力をしているのかな?	選挙は実際どのように行われているのだろうか?		
展開	2時限目(選挙ゲーム) 各自の公約をつくり、立候補者を選出しよう		教科書 p.152,155 を使用しながら「選挙ゲーム」の方法を説明する。 既習知識が生かせる「福祉、年金、軍事(憲法改正)」の3点にテーマをしぼり各自公約を考えさせる。 公約を発表させ、考えが近い者同士グループ分けをする。 グループで政党名を決めさせ、選挙区からの立候補者1名、比例区からの立候補者2~4名程を選出させる。 政策の確認と、立会演説会の内容を検討する。		B: 既習知識を用いながら自分なりの政策を考えようとしている。(学習カード) 【思考・判断】
		弱者を守る 政策の実現! 年金改悪反対 消費税値上げ反対 自衛隊派遣反対	Noと言える 日本の実現! 年金改悪反対 消費税は福祉に限定 憲法の改正実現	現実を直視した 政策の実現! 年金制度早期実現 消費税10% 憲法9条の改正	
開	3時限目 政策討論会を開こう		選挙区の候補者から福祉、年金、軍事についての政策を発表し、聴衆も交えて意見交換を行う。 意見交換後、政策討論会の利点を問い、感想を記入させる。 グループごと政策の見直しを行い、立会演説会に備える。		B: 友人の意見を聞きながら各々の社会的事象に対する思考を深めようとしている。 (発言内容) 【思考・判断】
		意見交換することで候補者たちも考えを深めることができる。 ・政策討論会を開き意見交換することで、私たちの考えも反映される。			
まとめ	4時限目 立会演説会と選挙をしよう		あらかじめ選挙管理委員2名を選出し、以後の進行を務めさせる。 メモをとらせながら候補者の演説を聴かせる。(演説時間は5分) ・比例区と選挙区2枚の投票用紙を配布し、投票し開票する(比例区についてはドント式を行い、その仕組みを理解させる)。 ・結果の発表をし、結果の考察をすると同時に選挙ゲームでわかったことを発表させる。		B: 選挙制度が担う民主国家の姿を理解しようとしている。(学習カード) 【知識・理解】
		選挙によって、政策が国民から問われるんだ。 ・だから、候補者も国民の意見を真剣に聞くんだね。 ・でも、投票した人が落選したら意見が反映されるの?			

3 まとめ(授業を展開するにあたって)

「選挙ゲーム」における「公約づくり」の場面は、現在の社会情勢と絡めながら、既習知識(経済活動、平和主義、社会権、福祉社会と年金など)を関連させ、総合的に思考を深めることができる点で、「公民的資質の基礎」を構築するための「鍵」になるものと思われる。また、「政策討論会」と称して行う意見交換の場面では、お互いのやりとりを聞き合う中で、それまでの学習を振り返り、必

要感を持ちながら、より確かな思考を構築するために有効であると考えられる。そのためにも、既習事項を整理し、まとめる時間を保障する必要があるだろう。

さて、この展開の続きは「選挙をめぐる問題点」の学習である。「ねばり強い追究心」を喚起するためにも、「選挙ゲーム」を通じて生じた生徒の素朴な疑問を大切に、生徒の意識に沿った展開を心がけるようにしたい。